

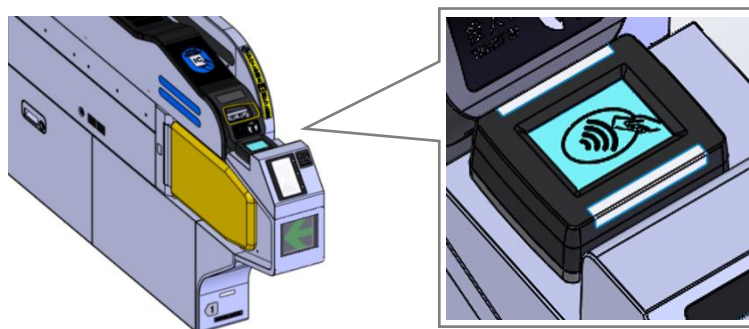
2024 年 2 月 28 日

報 道 関 係 各 位

山 陽 電 気 鉄 道 株 式 会 社
三 井 住 友 カ ー ド 株 式 会 社
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
株 式 会 社 み な と カ ー ド
株 式 会 社 ジ ー シ ー ビ ー
日 本 信 号 株 式 会 社
Q U A D R A C 株 式 会 社

山陽電気鉄道の全駅で、クレジットカードやデビットカード等の タッチ決済による乗車サービスを開始します ～2025 年春サービス開始～

山陽電気鉄道株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：上門 一裕、以下「山陽電車」）、三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：大西 幸彦）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：シータン・キトニー）、株式会社みなとカード（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：加藤 浩一）、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役兼執行役員社長：二重 孝好）、日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本 英彦）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 昌幸）は、2025 年春から山陽電車の全駅で三井住友カード株式会社が提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したタッチ決済対応のカード（クレジット、デビット、プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等による鉄道乗車サービスを開始することを、発表します。



クレジットカード等のタッチ決済に対応した改札機（イメージ）

本サービスは、2025 年大阪・関西万博に向けたキャッシュレス・チケットレス改札の取組みの一つとして行うものです。きっぷの購入や IC カードへのチャージなどが不要で、お客さまがお持ちのタッチ決済対応のカードや同カードが設定されたスマートフォン等を改札機に設置する専用リーダーにタッチすることでご乗車いただけます。従来よりスムーズに乗車いただくことが可能となり、国内外の幅広いお客さまの利便性が向上します。

タッチ決済による乗車サービスの概要は次ページのとおりです。

タッチ決済による乗車サービスの概要

※詳細および具体的なサービス開始日については、改めてお知らせします。

■ サービス開始時期

2025 年春（予定）

■ 乗車方法

お手持ちのタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等を、新たに改札機に設置する専用リーダーにタッチすることで、そのまま改札を通過して乗車いただけます。

■ 対象駅

山陽電車 全 49 駅（専用リーダーを設置した改札機を、各改札口に 1 台設置します）

■ 決済ブランド

Visa、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯

※Mastercard®については、順次追加予定

■ 各社役割

山陽電車	鉄道運行、タッチ決済対応設備の整備
三井住友カード株式会社	プロジェクト統括、キャッシュレス決済導入支援、stera プラットフォーム提供（stera transit）
ビザ・ワールドワイド	Visa のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション
株式会社みなとカード	キャッシュレス決済導入支援
株式会社ジェーシービー	キャッシュレス決済導入支援、JCB および American Express、Diners Club、Discover のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション
日本信号株式会社	タッチ決済乗降車用改札機開発
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム“Q-move”の提供

■ タッチ決済について

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、同カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要（※）で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用いただける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進むなど、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。

（※）一定金額を超えるお支払いは、カードを挿入し暗証番号を入力するか、サインによる本人確認が必要となります。



■タッチ決済乗降履歴確認方法

交通事業者向け決済および認証のプラットフォームを提供するQUADRAC株式会社のQ-moveサイト (<https://q-move.info/>)にアクセスいただき、「マイページ」の会員登録手続きの後ご確認いただけます。

The image shows the Q-move homepage. At the top, there's a header with the Q-move logo and a navigation menu. Below the header, there's a section titled "Q-move マイページ" with a sub-header "会員登録により、乗降の利用履歴確認ができます。" and a link "使い方はこちら 利用可能エリアはこちら". There's a "ログイン" section with fields for "会員ID(メールアドレス)" and "パスワード", and a "パスワードをお忘れの方" link. Below the login section, there's a "会員登録はこちら" link and an "お問い合わせ" link.

トップ画面

The image shows the Q-move history confirmation screen. At the top, there's a header with the Q-move logo and a navigation menu. Below the header, there's a section titled "乗車履歴確認" with a sub-header "乗車履歴(過去30日間) 表示する期間を指定すると、最長で過去365日分を表示できます。". There's a "カード切替" section with a "VISA" card selected and a "1234" card number. Below that, there's a date range selector showing "2024/4/1" to "2024/4/1". There's a "合計" section showing "380円". There are two buttons: "並び替え" and "絞り込み". Below that, there's a table showing the history for "2024/4/1" with a total of "380円". The table has columns for "入" (Boarding) and "出" (Alighting) with details like "山陽電鉄" and "山陽姫路".

履歴確認画面

The image shows the Q-move history detail screen. At the top, there's a header with the Q-move logo and a navigation menu. Below the header, there's a section titled "2024/4/1" with a sub-header "山陽電鉄". There's a table showing the history for "2024/4/1" with columns for "入場" (Boarding) and "出場" (Alighting). The table has rows for "乗車人数" (Number of passengers), "乗車料金" (Fare), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides), "乗車回数" (Number of rides). There's an "OK" button at the bottom.

履歴明細画面

※上記画面は開発中のものです

■stera transit について

stera
transit

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カード株式会社が、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社・GMO フィナンシャルゲート株式会社および Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」など、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。

以 上